

事業実績評価(平成28年度分)

<掲載事業について>

ページ	事業名	区分
1	消防団員の確保	総合計画 1-1-(3)
2	污水处理施設の整備	総合計画 2-3-(5)
3	確かな学力の定着を図る教育の推進	総合計画 4-2-(3)
4	特色ある「瑞穂農業」の促進	総合計画 5-1-(1)
5	公共施設等の適正管理	総合計画 共-1-(4)
6	歳入の確保	総合計画 共-2-(3)
7	民間施設(ボウリング場)を活用した地域活性化拠点(小さな拠点)強化事業	総合戦略
8	圏域応援ステーション 穂積駅圏域拠点化構想推進事業	総合戦略
9	広域公共交通ランドデザイン策定によるまちの賑わいの創出事業	総合戦略
10	公共交通広域化による穂積駅圏域拠点化構想推進事業	総合戦略
11	ICT活用による地域ケアネットワーク・地域包括ケアネットワーク構築事業	総合戦略

<自己評価の選択肢について>

高い	目標達成に非常に効果的であった
	目標達成に相当程度効果があった
中	目標達成に効果があった
	目標達成に効果がなかった
低い	目標指標無し
-	その他

瑞穂市

1.安全で安心して暮らせるまち

1-1.治水・防災

諮問事業(H28年度実施分)

1-1-(3).消防団員の確保

所管

総務課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標3-(3)安心な生活環境の確保

施策の内容
 ・団員の高齢化や減少を踏まえて、多様な団員を確保します。

主な事業
 団員確保対策(P R事業等)の実施【創】 【重】
 関係機関への協力依頼
 女性・学生消防団員の募集

年度別実施計画	28年度(実績)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)
	●新分団(第7分団)の創設	75,678				
●消防団員入団勧奨PR(イベント出店、啓発)【創】	485		●消防団員入団勧奨PR(イベント出店、啓発)【創】	567	●消防団員入団勧奨PR(イベント出店、啓発)【創】	【調】

目標指標		単位	現状値(計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
団員数維持・拡充【創】		人	220	254	257	257

自己評価
 目標達成に相当程度効果があった
 平成28年度において、女性消防班の設立等により団員数を伸ばすことができた。今後もイベントなどの機会を捉えたチラシ等の啓発資材の配布、HPによる団員募集など多種多様な団員確保対策を実施していきたい。

外部評価
 (担当課記入不要)
 目標達成に有効であった
 目標達成に有効とは言えない

2.便利で快適に暮らせる美しいまち

2-3-(5).汚水処理施設の整備

2-3.上水道・下水道

諮問事業(H28年度実施分)

所管

下水道課・環境課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 -

施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道区域を拡大します。また、下水道未供用区域については、浄化槽の設置を促進します。 				

主な事業	公共下水道事業【重】 浄化槽設置整備事業				

年度別実施計画	28年度(実績)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)
				●下水管渠調査設計	167,400	●下水管渠調査設計
					●下水管渠工事	【調】
●浄化槽設置整備補助	82,061	●浄化槽設置整備補助	112,778	●浄化槽設置整備補助	112,778	

目標指標		単位	現状値 (計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
汚水処理人口普及率		%	54.1	56.7	59.1	70
下水道人口普及率		%	8.1	7.8	8.1	14

自己評価	目標達成に効果があった	汚水処理人口普及率は、目標達成に向け順調に伸びている。単独処理浄化槽や汲便槽から合併浄化槽等への切り替えにより生活排水の直接放流を減らし、河川等の水質保全につなげることができた。

外部評価 (担当課記入不要)	目標達成に有効であった	
	目標達成に有効とは言えない	

4.夢あふれ希望に満ちたまち

4-2.学校教育

諮問事業(H28年度実施分)

4-2-(3).確かな学力の定着を図る教育の推進

所管

学校教育課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標1-(3)教育力の向上

施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の生きる力の基盤となる基礎的基本的な知識や技能、思考力や判断力、学ぶ意欲を身につける教育を一層充実します。 						
	主な事業 学力向上推進事業【創】【重】						
年度別実施計画	28年度(実績)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)	
	●学力向上推進教師に対する研修会	0	●学力向上推進教師に対する研修会	0	●学力向上推進教師に対する研修会	0	
	●学校訪問等による授業参観、教員への直接指導	0	●学校訪問等による授業参観、教員への直接指導	0	●学校訪問等による授業参観、教員への直接指導	0	
	●各校研究実践の公表会、発表会の実施	0	●各校研究実践の公表会、発表会の実施	0	●各校研究実践の公表会、発表会の実施	0	
目標指標			単位	現状値 (計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
【全国学力テスト(質問紙調査)】学校に行くのが楽しいと思える児童生徒の割合【創】：小6			%	84.7	85.2	90	95
【全国学力テスト(質問紙調査)】学校に行くのが楽しいと思える児童生徒の割合【創】：中3			%	77.8	81.2	80	85
自己評価	目標達成に効果があった	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の学校訪問、2学期の公表会・研究発表会を節目として、各学校が基礎的基本的な知識や技能、思考力や判断力、学ぶ意欲を身に付けることができる授業を目指し、実践を重ねることができた。 2学期の公表会・研究発表会では、1学期の市教委からの指導助言を生かして授業を公開することができた。(特に、若手教員に対する放課後等の個別指導では、継続的に行うことで伸びの見届けも行うことができた。) 					
外部評価 (担当課記入不要)	目標達成に有効であった						
	目標達成に有効とは言えない						

5.活気あふれる元気なまち

5-1.農業

諮問事業(H28年度実施分)

5-1-(1).特色ある「瑞穂農業」の促進

所管

商工農政課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標2-(3)農業の振興

施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「富有柿発祥の地」の積極的なPRや新商品開発・ブランド化を図ります。 ・学校給食における地元農産物の利用等、地産地消を推進し、食育推進による食料自給率の向上を通じた地域の活性化を促進します。 				
	(仮)PRサイトの構築事業【創】【重】 (仮)瑞穂ブランド創出事業【創】【重】 地産地消推進事業				

年度別実施計画	28年度(実績)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)
	●PRサイトの構築		0	●学校給食地産地消推進事業補助	1,400	●学校給食地産地消推進事業補助
●富有柿を利用した新商品開発		19,492の一部				
●学校給食地産地消推進事業補助		824				

目標指標		単位	現状値(計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
新瑞穂ブランド開発数【創】		件	-	1	1	1

自己評価	目標達成に非常に効果的であった	富有柿発祥の地である、富有柿を利用した新商品開発として、富有柿を使ったパンのアイデアレシピを募集し、40を超える応募があった。その中から入賞した3レシピを市内ベーカリーショップに配布し6店舗で「ふゆーぱん」として商品化していただき、一斉に各店舗で販売を行い一定の効果を得た。地域に定着したブランドとなれるよう、引き続きPR活動や各方面へ普及活動を実施したい。 学校給食において、地元産農産物をはじめとする安心・安全な農産物を積極的に活用することにより食料推進による自給率の向上を通じた地域の活性化の促進を行うことができた。
	目標達成に有効であった	

外部評価 (担当課記入不要)	目標達成に有効であった	
	目標達成に有効とは言えない	

共.持続可能な都市経営のまち

共-1.行政運営

諮問事業(H28年度実施分)

共-1-(4).公共施設等の適正管理

所管

企画財政課、管財情報課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 -

施策の内容
 ・公共施設の老朽化の状況や人口減少・少子高齢化が進む現状を踏まえ、今後の公共施設のあり方を検討するとともに、長期的視点に立った計画的改修や長寿命化等による財政負担の軽減を図り、総合的な管理を推進します。

主な事業
 公共施設等総合管理計画推進事業【重】

年度別実施計画	28年度(実績)		29年度(計画)		30年度(計画)	
	事業費(千円)		事業費(千円)		事業費(千円)	
●公共施設等個別管理計画策定支援業務	7,478					
●公共施設等再編計画の起草	0		●公有施設適正化計画の策定	4,500	●公有施設適正化計画の推進	【調】
●公有財産管理システムの更新	2,894		●公有財産管理システムの更新	2,996	●公有財産管理システムの更新	【調】
			●施設の長寿命化のための計画的な修繕等(業南庁舎、火葬場、市営住宅、橋りょう、本田小、幼稚園、業南公民館、給食センター、図書館)	666,753	●施設の長寿命化のための計画的な修繕等	【調】

目標指標		単位	現状値(計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
公共施設(建物系)総延床面積の縮減		%	-	1.00	3.75	7.5

自己評価
 目標達成に非常に効果的であった
 平成28年度、瑞穂市建物系公共施設個別施設計画を策定し、各施設の今後の方向性を示した。当該計画では、施設の建替えや長寿命化について触れており、今後、適正化を進めるに於ける基準になるものと考えている。
 なお、平成28年度の延床面積が増加となった要因は、消防団第7分団車庫兼詰所の新築によるものである。

外部評価
 (担当課記入不要)
 目標達成に有効であった
 目標達成に有効とは言えない

共.持続可能な都市経営のまち

共-2.財政運営

諮問事業(H28年度実施分)

共-2-(3).歳入の確保

所管

企画財政課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 -

施策の内容
 ・ふるさと納税や公民連携による事業収入等による新しい歳入源を確保します。

主な事業
 ふるさと納税の推進【重】

年度別実施計画	28年度(実績)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)
	●ふるさと応援寄付金の奨励	42,893	●ふるさと応援寄付金の奨励	41,000	●ふるさと応援寄付金の奨励	【調】

目標指標		単位	現状値 (計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
(実績額) ふるさと納税額		千円	2,590	87,668	-	-

自己評価
 目標指標無し
 平成28年4月から寄付金のお礼(記念品等)を贈呈する対象者を拡大するとともに、お礼の記念品等の種類を100品を越える記念品の中から選択できるようした。これにより、寄付金額を大幅に増やすことができた。
 また、事業コスト削減のため配送を原則として日本郵便(株)に集約させることで従来の配送費用を30%程度削減させた。

外部評価
 (担当課記入不要)
 目標達成に有効であった
 目標達成に有効とは言えない

(H28)O1(民間施設(ボウリング場)を活用した地域活性化拠点(小さな拠点)強化事業)

所管

企画財政課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標4-(2)地域ブランドの創造・魅力向上

施策の内容
 ・地域資源としてボウリング場を活用することにより、主に若者が集う交流の場づくりを行います。
 ①瑞穂市における若者支援・多世代交流支援事業の実施、地域ブランド戦略推進、瑞穂市プロモーション事業の実施
 ②地域ブランド戦略の検討、地域ブランド戦略検討会議の運営支援
 ③移住促進パンフレットの作成

主な事業
 ①瑞穂市ブランド創出・魅力向上加速化業務
 ②瑞穂市地域ブランド戦略検討会議運営支援業務
 ③ちょっと気になるまち岐阜瑞穂移住促進パンフレット作成業務
 ①瑞穂市ブランド創出・魅力向上加速化業務委託 16,716千円
 ②瑞穂市地域ブランド戦略検討会議運営支援業務委託 1,879千円
 ③ちょっと気になるまち岐阜瑞穂移住促進パンフレット作成業務委託 896千円

年度別実施計画	28年度(実績)		29年度(計画)		30年度(計画)	
	事業費(千円)	事業費(千円)	事業費(千円)	事業費(千円)	事業費(千円)	事業費(千円)
●民間施設を活用した地域活性化拠点(小さな拠点)強化事業(地方創生加速化交付金事業) ・移住促進多世代交流イベントの開催 ・地域連携多世代交流イベントの開催 ・ボウリングを活用した婚活イベントの開催	19,492	●婚活イベントの開催 ・多世代交流イベントの開催 ・ふるさと創生大使を活用したPR	7,900	●瑞穂市ブランド創出・魅力向上業務瑞穂市移住促進業務	【調】	
		●穂積駅周辺でのほづみ夜市開催	21,000の一部	●穂積駅周辺でのほづみ夜市開催	【調】	

目標指標		単位	現状値(計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
交流拠点利用者総数(イベント参加者・来訪者数)		人/年	8,578	11,533	15,000	-

自己評価
 目標達成に効果があった
 若者支援・多世代交流事業として、11月にかきドキマーケット、3月に水と緑のマルシェ、10月と2月に婚活事業を実施し、交流人口10,000人を超え、目標を達成できたが、拠点化の施設として使用してきた、岐阜グランドボウルの閉店が決定し、交流の場を失う結果となってしまった。大変残念ではあるが、今までにこの拠点化事業で培ってきた地域人材との連携を活かし、交流事業は継続していきたい。その為、新たな拠点として、他の民間施設に移行が出来ないか協議を開始した。瑞穂市の利便性等をまとめた移住定住パンフレットを制作し、イベント等を通じて幅広くPRできた。

外部評価(担当課記入不要)
 目標達成に有効であった
 目標達成に有効とは言えない

(H28)02(一圏域応援ステーションー 穂積駅圏域拠点化構想推進事業)

所管

企画財政課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標2-(2).商工業の活性化

施策の内容	・多くの方が行き交う瑞穂市の玄関口であるJR穂積駅周辺の空家、空き店舗等を利用した出店等を促進し、活性化を行います。 穂積駅圏域拠点化構想の立案、協議会の設置及び運営の業務、普及推進又はPR活動に関する業務の実施	

主な事業	瑞穂市JR穂積駅圏域拠点化構想推進事業	瑞穂市JR穂積駅圏域拠点化構想推進業務委託 33,000千円
------	---------------------	--------------------------------

年度別実施計画	28年度(実績)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)
		●一圏域応援ステーション-穂積駅圏域拠点化構想策定事業(地方創生加速化交付金事業)	33,059	●穂積駅圏域拠点化構想推進事業 穂積駅周辺街路灯整備	21,000 5,200の一部	●穂積駅圏域拠点化構想推進事業

目標指標		単位	現状値(計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
穂積駅乗降客数		人	17,606	17,846	19,000	-
就業人口・労働力人口		人	25,343 (H22国調)	26,730	25,000	-
新規出店数		件	0	2	8	-

自己評価	目標達成に非常に効果的であった	昨年度からのJR穂積駅及びJR穂積駅周辺の活性化その他の地方創生事業である「拠点化構想」を策定した他、「ほづみ夜市」の開催や「駅周辺での空き店舗活用」などの取組みを始め、駅周辺の多様な面からの改善案の検討や活性化事業を実施することができた。構想は、20年スパンの長期計画であり、JR穂積駅は市の重要な拠点であることから、平成29年度も地方創生推進交付金を活用して、事業を促進させていく方向である。
------	-----------------	--

外部評価 (担当課記入不要)	目標達成に有効であった 目標達成に有効とは言えない
-------------------	------------------------------

(H28)03(広域公共交通ランドデザイン策定によるまちの賑わいの創出事業)

所管

総務課

重点施策該当 - まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標3-(2).公共交通の充実

施策の内容	・地域公共交通会議、アンケート調査等を通して市民のニーズを把握し、路線体系を見直します。 2市2町（瑞穂市、本巣市、大野町、北方町）の広域公共交通ランドデザインの策定	

主な事業	広域公共交通ランドデザイン策定によるまちの賑わいの創出事業	北方町への負担金 6,960千円
------	-------------------------------	------------------

年度別実施計画	28年度(実績)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)
	●広域公共交通ランドデザイン等検討事業 (地方創生加速化交付金事業：広域連携事業)		6,960			

目標指標		単位	現状値 (計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
市内バス路線の利用者数の増加		人	39,263	39,407	増加	-
住みやすさの評価・居留意向「ずっと住み続けたい+当分は住んでいたい」		%	55.3	79.4	60	-

自己評価	目標達成に効果があった	平成27年度と比較すると144人増加しており、利用者は順調に伸びていると思われる。更なる利便性の向上、利用者増を目指して路線の見直し、検討業務を実施した。
------	-------------	---

外部評価 (担当課記入不要)	目標達成に有効であった 目標達成に有効とは言えない	
-------------------	------------------------------	--

(H28)04(公共交通広域化による穂積駅圏域拠点化構想推進事業)

所管

総務課

重点施策該当 - まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標3-(2)公共交通の充実

施策の内容

- ・地域公共交通会議、アンケート調査等を通して市民のニーズを把握し、路線体系を見直します。

将来的に持続可能で効率的な公共交通の実現を目指すため、

- ・広域公共交通検討業務委託（現状把握、ニーズ把握、広域公共交通導入検討、打合せ、報告書作成）を実施。（瑞穂市・安八町）

主な事業

広域公共交通検討業務	地域間幹線バス導入検討業務委託（契約額3,240千円）のうち瑞穂市負担分 450千円
------------	--

年度別実施計画	28年度(実績)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)
	●地域間幹線バス導入検討業務	3,240	●広域公共交通導入検討業務	8,759	●交流イベントの実施	3,000
		●バック商品開発等営業	1,300	●バス沿線を舞台とした活動補助	300	
		●運行開始セレモニーイベント実施	1,000	●バック商品開発等営業	200	
				●クラウドファンディング	500	
				●2市町公共交通会議運営	200	
				●新規バス試験運行	15,119	

目標指標		単位	現状値（計画策定時）	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
穂積駅の乗車人数（1日平均）		人	8,803	8,923	9,500	-

自己評価

目標達成に効果があった	新規に安八町と穂積駅をバスで結ぶことにより、穂積駅の利用者増とそれによる瑞穂市の発展を図るため、バス運行に向けた検討、協議を推進する。
-------------	---

外部評価
(担当課記入不要)

目標達成に有効であった	
目標達成に有効とは言えない	

総合戦略事業

H28

諮問事業(H28年度実施分)

(H28)05(ICT活用による地域ケアネットワーク・地域包括ケアネットワーク構築事業)

所管

地域福祉高齢課

重点施策該当 - まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標3-(4)地域の福祉・医療体制の充実

施策の内容
 ・高齢者情報のデータベース化等により、地域包括ケアに必要な情報ネットワークを構築します。
 市、地域包括支援センター、在宅介護支援センターのみを結ぶICTネットワークシステムを構築し、現在、紙で行っている情報共有をリアルタイムに行うために、
 ・在宅訪問事業者システムの構築 ・システムサーバー等の整備を実施。

主な事業
 ①在宅訪問事業者システムの構築
 ②システムサーバー等の整備

①システムサーバー等整備 799千円
 ②在宅訪問事業者共有システム構築、データ移行業務 1,577千円

年度別実施計画	28年度(実績)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)
	共有システムの構築業務委託	1,577				
	共有システム搭載機器整備	799				

目標指標		単位	現状値 (計画策定時)	(H28・2016年度)	(H32・2020年度)	(H37・2025年度)
在宅介護支援センターの相談員数		人	4	5	8	-
本システムを使って就労した高齢者の数		人	0	0	延べ34	-

自己評価
 目標達成に効果があった
 平成29年3月末にシステムが稼動。今後は、本システムを利用し高齢者の就労等につなげる運用を進める。

外部評価 (担当課記入不要)
 目標達成に有効であった
 目標達成に有効とは言えない